

「晴天長短——セイテンチャンダン——」

作・演出 金哲義

※長短(チャンダン)…韓国・朝鮮語で「拍子／リズム」のこと

【登場人物】

洋光(ヤングァン)

朝鮮学校の生徒

英勲(ヨンフン)

洋光の父

康子

洋光の母

順貞(スンジョン)

康子の母

陽子

康子の妹

尊子

康子の妹

芳博

康子の弟

勝美

英勲の妹

健司

勝美の夫

ハミン

康子の祖母

先生(ソンセンニン)

洋光の担任

ドン！タタ！ドン！タ…！
まずは晴天の青空が広がる。

その青空に反響するのは、まるでチャングやブクなどが奏でる長短(チャンドン)にも聞こえるが、爆竹や花火や競技用のピストルの火薬の音である。

どこの朝鮮高級学校のグラウンド。

時代はほんの一昔前。正確な年代はない。携帯電話もパソコンも一般に普及していない頃。日付だけハッキリしている。

十月十日。運動会。

舞台は、その客席。

膝ほどの高さの仕切りロープが緩やかに円の一部を描きながら、横一線に走る。

ビニールシートの上に家族の姿。ビールや食べ物が入り乱れており、開会式が始まろうとする時刻に全員ほろ酔い気味である。

英勲、康子、陽子、尊子、カメラを構えている芳博、順貞。

そして家族の陣の中央には九十歳に近い老婆が片膝を立てて座っている。

老婆は康子の祖母にあたり、「ハルモニ(お祖母ちゃん)」が

局地的な在日特有の訛り方をした「ハマニン」と呼ばれている。

ハマニンは今日が何の日なのか、自分が何処に居るのか、

そんな事など解らず、むしろ意識もなく、グラウンドを見る事もなく、時間が動いてないようにただ座っている。

尊子
あ。今、ハマニンの肩、ピクって動いたんちゃう？

そのハマニンに粉薬を飲ませている陽子。

少し大きな声でハマニンに話す。

陽子
太鼓の音とちやうで。

尊子、手元にある何かを叩いてリズムを刻んでみる。

尊子
動けへんな。気のせいやったんかな？

ハマニンをおちよくりな！

英勲
君らな、自分らのハルモニをもっと尊敬しなあかんで。

歴史の本が何百冊も詰まったような人生を生きてきはったんやから。

もう、どないも開かん本や。

順貞
順貞、煙草に火を点け、ハマニンにくわえさせる。

ハマニンは煙草をゆっくりと指にはさみ、深々と煙を吐く。

陽子
こういうのはちゃんと動くんやから、不思議やな。

ハマニン、煙草の灰を芳博のレンズケースに落とそうとする。

芳博 おわあ！！ちよと！！

芳博、慌ててレンズケースとビールの缶を入れ替える。

英勲 わあー！ワシのビール！！

ハマシ、ビールの飲み口に灰を落とす。

英勲 (芳博と同時に) あゝあ、何すんねんなあ…。

芳博 (英勲と同時に) 怖いな、何すんねん。

英勲 缶切りくれ。

尊子、缶切りを渡す。

尊子 何すんのん？

英勲 上あけて灰取るねや。ハナカミ乗せたら灰吸いよるやろ。

陽子 やめときな、危ない。新しいのん飲んだらええやんか。

康子 アボジはいつもこんなんや。工場で年末に鏡餅お供えた時に、横に置いてる清酒も、

尊子 年明けて埃取って飲もうとするねん。

命懸けで飲むねんなあ。

英勲兄ちゃん、御飯にウイスキーかけて食べるんやろ？

康子 ビールや。

英勲 ウイスキーや。

康子 ビールや。

英勲 はあ…。物多い時代に産まれた君らは幸せやで。

康子、英勲からビールを取り上げてハマシの灰皿代わりに置く。

そして新しいビールを英勲に渡す。

勝美と夫の健司が、缶ビールがたくさん入ったビール袋を両手にぶら下げてやって来る。

勝美 スーパ、遠いなあ。

康子 勝美ちゃん、勘忍な。

健司 いやあ…そやから僕は自動販売機で買ったらええ言うたんや。

勝美 両手で抱えて不細工に運ぶんか？

陽子 やっぱ一緒に行ったらよかったな。

勝美 ええよ、ええよ。兄ちゃん、ビール…ああ、まだあるか。

健司 兄さん、冷えてる方飲んで下さい。

康子 ほな食べるもん出そか。

全員、食べ物を広げたり缶を片付けたりする。

尊子 英勲兄ちゃん、おにぎりにビールかけよか？

英勲 アホか。あれは酔っ払った時に一回やっただけや。

康子 あ、行進始まったで！

ハミン以外、行進がスタートした方を見る。

康子 芳博、ちゃんと撮ってや。

芳博 解ってる。洋光どれや？

英勲 おったおった！洋光おった！

芳博 どれや？

康子 どれえな？

英勲 あれやがな。三列目の…右から一…二…四人目。

陽子 左から二番目か？

健司 え？あれですか？

英勲 ほら！芳博！はよ撮って！

芳博 どれ？？

健司 ちやうと思ふなあ。

英勲 あれやがな。今、ワシら側を通るがな。何でもええから、ほら！

芳博、とりあえず何枚もシャッターをきる。行進は目の前を通る。

康子 アボジ、シバくで！自分の息子、どんな顔か知らんのか？！あれ洋光ちやうやんか！

英勲 あれやがな！芳博、撮ってや！

康子 あれが洋光やんか！大体、身長高かないのに、前から三列目のわけないやろ！ほら、これやん！

芳博、撮ってや！

英勲 あ、ホンマや。ほなさっきの誰や？

康子 知らんわ！

英勲 洋光！！ヤングアーン！！ヤングアんで！

英勲、大きく手を振る。行進は通り過ぎる。

英勲 何やあいつ？見もせえへんがな…朝起きた時、機嫌でも悪かったんか？

尊者 十八の子が親に手え振られて振り向くわけないやろ。

健司 兄さん、ビール開けましょ。

ビールを一口飲んだりする間。

順貞、ハミンに食べ物を食べさせている。

康子 あ、開会式始まったわ。お母ちゃん、見えへんのか？

順貞 見えへん。うち、皆で金日成の歌とか歌うの好かん。

康子 心配せんでも金日成もお母ちゃんの事好いてへんわ。

順貞 何で金日成がうちを好かんか！？うちが何した？

康子 知らんやんか。

順貞 何した？どんだけの事した？うちはウリナラに一杯物送ったやろ？車も五台送ったんや。車も五台。

康子 いつもいつもスイマセン言うて、お歳暮の一つでも送ってくるのが礼儀ちやうか？

英勲 お歳暮送るお金ないから物送れ、言うてるねん。

英勲 お歳暮とかないから、向こうは。

曲が鳴る。

英勲

ワシこの歌、今でも歌えるかな？チャ〜ベッサン、チュルギチュルギ、ピーオーリーンチャ〜ウ〜ッ…結構歌えるな。

康子

何でアボジが歌うのんな？

尊子

客席誰も歌とてへんやん。恥ずかしいなあ…。

英勲

おい。サビの部分、ピンナヌンとクリウン、どちらが先やったかな？

康子

何がいな？

英勲

いや、しゃあからサビの…。

康子

歌も知らんにサビ解るわけないやろ！朝鮮学校行ったんアボジだけなんやから自分で考ええな。

英勲

勝美、お前ウリハッキョ出たがな。

勝美

歌なんか覚えてへんわ。

斉唱が終わり、英勲はグラウンドに向かって拍手する。

英勲

なかなか歌えたワシに拍手やな。

勝美

全然歌えてないがな。

別の歌が始まる。

英勲

今度、何の歌や？？あ、金正日か。ワシ、これは知らんわ。

全員、ちよいちよいグラウンドを見ながら食へたり飲んだり。

勝美

あれ洋光ちやうか？

陽子

ホンマや。百メートル走かいな。

尊子

ははは。小さいから一番最初やねんな。

康子

あの子は伸びひんなあ。芳博、しっかり撮ったってや！

芳博

解ってる。

陽子

お母ちゃん、前出しておいでえや。

順貞

ちゃんと見えてる。

英勲

洋光！！飛ばして行けよ！！

スタートの銃声。

英勲、ロープを越えてグラウンドに出て来る。

そして通過する(らしき)洋光に声をかける。

英勲

よっしゃ！ええぞ！！

一瞬の間があつて。走り去った(らしき)方向から、洋光が肩で息しながら戻ってくる。

洋光

何で出てくるねん！！

英勲

アホ、お前！何でUターンしてくるねん！

洋光

邪魔やるが！

英勲

ちゃんとゴールまで走らんか！

芳博、様々な角度からアグレッシブに撮っている。

洋光

最後まで走らしてくれやー！皆笑ってるやんけー！出てくんなやー！

洋光、走り去る。

勝美

ああ…べへたや。

英勲

何やアイツ。(走り去った遠くの方向に)お前は世間体を気にして勝負を捨てた愚かもんじゃー！

これからの人生もそうやって生きて行くんじゃ！

尊子

何や？あの子、朝の十時でもう人生決まったんかいな？？

健司

ま、ま、兄さん、飲みましょ。

もう一発のスタートの銃声。

康子

アボジ、次の子ら始まったで。危ないから戻っといで。

あれ、走ってくるのん二丁目の星山さんの子ちゃうか？

英勲

ホンマやホンマや。ミヨンスや。

英勲、再び前を通過する(らしき)子に。

英勲

頑張りや。ほら、見てみ。ミヨンスはやっぱりええ子や。走りながらも頭下げよるがな。

陽子

反抗期ちゃうか？

康子

洋光が？ちゃうよ。あの子、反抗期なかったで。いつも大人しいに言う事聞いとったで。

尊子

それは大人しいんやのうて、溜め込んでたんかも知らんぞ？

英勲

アイツ、何かに反抗するほど大した生き方してへんがな。

英勲、洋光が居るらしき遠くの方向に向かって。

英勲

お前が反抗するほど世間はお前なんかに関心持つてへんわ！！

陽子

あ、聞こえてるわ。

尊子

何か、ハテナマーク出しながら怒ってるぞ。

康子

アホはほっといて、アボジ、戻っておいで。

健司

兄さん、スルメも買ってきましたで。

英勲、ロープをまたいで客席に戻る。

スタートの銃声。

全員、各々の流れで食事をする。

生徒たちが全力で走る足音。

スタートの銃声。

生徒たちが全力で走る足音。

全員、砂埃を気にしたりする。

勝美 あ、タマゴ焼きに砂入った。
陽子 勝美ちゃん、それほってまい。
康子 もっとあっちの方で走ってくれたらええのに…

洋光がスポーツバッグを持ってやってくる。

尊子 帰るんか？

英勲 なんや？運動会からも落伍したんか？

洋光 何がやねん！？カバン置いていってくれ、昼休みに戻ってくるから。

勝美 洋光、ジュース飲んでいき。

洋光 え？

陽子 お茶がええか？麦茶あるで。

洋光 いや…。

健司 次何出るねん？

洋光 障害物…。

芳博 よし、洋光。一枚撮ったろ。

洋光 あ…。

順貞 小遣い持って行き。

洋光 いや、今は…。

英勲 オモ二、そんなんせんといて下さい。

康子 ハルモ二にありがとう言わんかいな！

洋光 ありがとう…。

芳博 洋光、もっと後下がって。

洋光 え？

勝美 オレンジジュースでええか？

洋光 いや、そやから…。

順貞 好きなもん買いや。

英勲 オモ二、甘やかさんでも…。

陽子 ありがとうは朝鮮語でコマッスンミダか？

洋光 うん…。

健司 彼女おるんか？

洋光 それは…。

尊子 おにぎりもあるで？

洋光 後で…。

康子 ありがとう言い、言うてんのに！

洋光 いや、今…。

芳博 洋光、もうちょっと後やわ。

洋光 無理…。

健司 正直に言うてみ？

洋光 だから…。

英勲 しゃあない、コマッスンミダ言え。

英勲、洋光の頭を押さえて下げる。

洋光
があああああ！！

全員、怯む。

洋光
何で皆、今、ぶっけんでええ自分だけの都合を今、ぶっけるねん！！

勝美
難しい喋り方するなあ。

陽子
小ちゃい時はこいのぼりの事、こいぼりてしか言われへんかったのに。

全員、大爆笑。

尊子
後、テレビレ、テレビレ。

全員、大爆笑。洋光、脳内で憤慨しながら去る。

英勲、洋光が置いていったカバンを開ける。

英勲
あの年頃は何を入れとるんや？

陽子
やめといたりいな、勝手に開けんのん。

英勲
あ。

英勲、立ち上がり、洋光を呼ぶ。

英勲
洋光ー！ー！大事なもん忘れとるぞー！これ持っていかなんでええんか！？

しばらくして洋光、戻ってくる。

洋光
大事なもん？

英勲、タバコを見せる。

英勲
ライターは持つとんか？

洋光、一瞬ポケットを押さえて「しまった」という表情。

英勲、洋光を思いつきり叩く。

英勲
バカタレが！！

順貞
もうもうもう…そんなに叩いたらあかん。洋光は吸うてへん。な？友達が隠したんや。な？
小遣い持っていく。

洋光
いや、そんな何回もいらんて…。

英勲
お前、今日帰ってきたら覚えとれよ！

洋光、去る。

健司
まあ、まあ、もっと悪い子は居てますよ。

英勲
見てみい。あいつ、自分が悪い事したのに不満そうな顔。お前（康子）そっくりや。

康子 失礼やな！悪い事したて解つてへん無神経さはアボジそっくりなんや！
英勲 あんなバカタレ、ワシの子ちゃうわ！
康子 あんなアホ、うちの子でもないわ！アボジの子やなかったら誰の子や！
順貞 もうええ。うちの孫や。

芳博、英勲が置いたタバコを一本吸う。

英勲 芳博。自分のハルモニもオモニも居てはんに堂々とタバコ吸うんか。
お？うん。

どっか離れて吸わなあかんで。

兄ちゃんは古い事ばかり言うから。

古いも新しいもあるかい。礼儀やないか。

そんな時代ちゃうねん。流行れへんで。

お前もつかかるな。

何でもかんでも時代か。ほな流行りで、こないだお前は帰化したと言ったんか。

まあ、兄さん、今日はもう…。

晴れてる日に気分悪なる話せんといて！

もうもうもう…。英勲さんも勝美ちゃんもカリカリせん…。

英勲、タバコケースを持って去る。

勝美 (苦笑いしながら皆に) 勘忍な。

健司 ホンマにお前は…。姉さん、すいません。

康子 アボジの性格は一生治れへん。

アナウンスの声。

尊子 勝美ちゃん、今のん何て言うてんの？

勝美 何やるなあ。うちも朝鮮語なんか大分忘れたなあ。

康子 健ちゃんも解らんか？

健司 大分聞き取れんようになりましたねえ。

陽子 普段なんか別に喋れへんもんなあ。

勝美 朝鮮学校行つてた間だけやったもんなあ。

陽子 何か走るコースに色んなん並べてるなあ。

尊子 あ、障害物競争か！

勝美 障害物競争かあ。

陽子 走つてる時もアナウンス、一杯何か喋ってるな。

勝美 あれは、誰々君が速いです、とか、誰々君が誰々君を抜きました、とか。

康子 お母ちゃん、暑ないか？タオル、頭にかけるか？

順貞 大丈夫や。

スタートの音が遠くで鳴る。

陽子 朝鮮学校の運動会て賑やかやけど…何や…うちらには寂しいもんやな…。

尊子

朝鮮語解る人だけ楽しんで、みたいな…。

陽子、尊子、勝美、競技を見て驚き笑ったりする。

尊子

ははは！凄いな！あんな高い壁越えていくねんな。

陽子

いやいやいや！あの子、宙返りしながら飛び降りたで！

勝美

三年生がああ壁をどうやって越えるんかが名物やねん。

健司

うわわわ、凄いなあ。

尊子

うわあ！今の子！器用な飛び方するなあ！

健司

あ！次、洋光ちやうか？

康子

あ、ホンマや！芳博、今度はええとこ撮ったってや！

芳博

よっしゃ！

陽子

さっきはケンカしてるとこはっかりやったからな。

芳博

あれもええ写真や多分。

陽子、尊子、勝美、軽く笑う。

スタートの銃声。

しばしして、洋光が（今度は本当に）走り抜ける。

すぐ後から、タバコを持った英勲がトラック内を走ってくる。

英勲

洋光！ええぞ！走れ！！今、ハシゴのところで足打たんちやうか！？

洋光、Uターンしてくる。

英勲

アホ！またお前…！

洋光

そやから出てくんやあ！！

芳博、様々な角度からアグレッションに撮っている。

洋光

ロープ見ろや！皆あっち！俺らはこっち！このロープが俺とアボジの境界線なんやあ！！

洋光、走り去る。

英勲

興奮して何を重い事言うてるんや、あいつ？（洋光の方向に向かって）

昔はワシが帰って来たら、アボジ帰って来たらアボジ帰って来た、言うて喜んでたがな！！

尊子

あの子は今日一日中障害物競争やな。

陽子

それでも器用に壁登るなあ。

勝美

あ、普通に飛び降りたな。

尊子

何かやる元気なかつたんやろ。

勝美

あゝあ、またへったこや。

芳博

また二十四枚全部撮ってもうた。

健司

洋光は走り遅いほうか？

英勲

ワシは走りは速かったのになあ…。あれはワシの子ちやうわ。お前（康子）に似たんか？

康子

うちも子供の時は速かった。あんなうちの子ちやう。

英勲、ロープを跨いで去ろうとする。

康子
どこ行くのん？

タバコ、吸い終わってへんのや。後、西支部の連中と会って喋ってる途中やったんや。ビール、四つだけ持っていくわ。

康子
人と喋ってる最中に息子追いつけな！失礼な人間やで、ホンマ。

英勲、去る。

健司
僕ちよと…。

何処行くん？

勝美
タバコ買ってくるわ。

健司
健ちゃん兄さん、僕のありますよ？

ありがとありがと。僕セブンスターやないとなかなか…。

芳博
ああ…。

どれもニコチンやん。

勝美
うるさいなあ。

健司、去る。

尊子
うち、ちよと便所行く。

勝美
あ、うちも行っとくわ。

康子
お母ちゃん、今行っとかんでええか？

順貞
そやな…。

勝美
オモ二、行きましょ。

一人で行って知り合いに捕まんのんうっとおしいから助かるわ。

尊子、勝美、順貞、去る。

康子
今のうちに何か他の飲みもんどかでも買うとこか。

芳博
康子姉ちゃん、スーパー行くんか？

康子
何要るのん？

フィルム買うといってくれ。

芳博
フィルムは種類とかはあれへんのん？みんな同じか？

康子
一緒に行くわ。

ほな荷物一緒に持って。陽子、いけるか？

陽子
大丈夫大丈夫。ハマンはうちが見とく。

康子
頼むわな。何か要るもん…。

何にも要らんや。

陽子
康子、芳博、去る。

陽子、しばしグラウンドの光景を見ている。

騒がしい音も何だか遠い。

陽子、目を細めて天を見る。晴天が突き刺す。

陽子

あついなあ…。ハマニ、あ…。日傘さそ。

陽子、日傘を広げて、ハマニの肩にかける。

陽子

冷たいお茶飲もっか。

陽子、水筒を出す。

陽子

ハマニ、うちな、今日…。楽しないわ。

聞こえる言葉も何を言うてるか解れへんし、こんな学校の風景も何にも懐かしな…。

そやけど、うちな…。朝鮮学校通いたかった時期あったんよ。制服のチヨグリ着たかってん…。

ただそれだけの理由やねんけど…。そやけど…。朝鮮学校通おう思ったら、月謝も高いやん？

生活保護受けとったうってこは無理やったもんなあ…。

ハマニが元気な時、話一杯聞いてみたかったわ。

そんな事思える歳になつた時には、ハマニは昔みたいな元気ないもんなあ。

お父ちゃんの話も聞けんままたし…。

お母ちゃんにも、一杯聞いとかなあかんねんけどな…。何やろな…。

親の昔は聞きにくいな…。誰でもそやなんやろか？

聞きにくいまま時間が過ぎて…。そのうち聞く元気なくなつて…。覚え直す力もなくなつて…

だんだん解らんようになつて…。ああ、もう…。どうせこの国で生きて行くんやし…。て、思うんやろなあ。

うち今、思つてるもんなあ…。

陽子、ハマニに飲ませたお茶を戻す際に、自分の膝にこぼしてしまふ。

陽子

あ…。

陽子、何か拭くものを探すが、

ハマニはゆっくりゆっくり手を動かし、自分の膝元にあつたハンカチで陽子の膝を拭く。

陽子

…。ありがとう。

陽子、しばしグラウンドの光景を眺めている。

陽の光等を時折見ながら、ハマニの日傘をたたみ、ハマニの額の汗を拭いたりする。

チャイムの音。

少しして、農楽ノンアツの衣装を来た洋光がやつてくる。

洋光

あゝ…。腹へつた。

陽子

あれ。えらい綺麗な服着て。

陽子、洋光の食べるものを準備する。

洋光

昼一番からノンアツやねん。

尊子、勝美、順貞が帰ってくる。

勝美 洋光、似合ってるやんか。頭クルクル回すのん？
洋光 頭はクルクル回せへん。頭のヒモ回すねん。
尊子 アンタ、今日さんさんやな。
洋光 アボジをちゃんと止めといてえや。

健司が帰ってくる。

健司 あ！洋光、カッコええな！彼女に見せたんか？
洋光 おれへんわ。

康子と芳博も帰ってくる。

康子 いや！洋光！
洋光 何やねん！？
康子 芳博！カメラ、カメラ！
芳博 よっしゃ。

芳博、カメラにフィルムを入れる。

洋光 何やねん？
康子 皆、集まって集まって。洋光、ハマニとお母ちゃんの横行き。
洋光 ちよ、もうやめてくれや。俺、はよ食へていかなあかんねん。
康子 運動会は逃げへん。芳博、撮って。
洋光 時間は逃げんねん！
康子 うるさい！

芳博、シャッターを押す。と同時に、不審そうな英勲が戻ってきている。

英勲 お前、何や！？何かに求婚してんのか？？
洋光 意味解らんわ！
康子 アボジも座って御飯食へ。

全員そろって賑わいながら御飯を食へる。
時折グラウンドを眺めながら。

尊子 お。あれは空手部の子らか？
洋光 うん。

あの子らは昼飯も食へんと演舞…言うんか？やるのん？
終わって食へるんやろ。

「苦勞さんやなあ。(客席見渡しながら)こんな時間にやっても、お客さん見てへんやんか。
運動会自体もほとんど見てへんで。

英勲 いやいや。あの子凄いな。分厚い板割って。
洋光、飲みもん置いてくぞ。
洋光 ありがとう。

勝美 うわぁ。あの子、瓦全部割ったやんか。あ…一枚残ってるわ。
尊子 ははは。残念賞やな。

賑わいの中で、洋光、コップに注がれた飲み物を何気なく飲む。

洋光 ビールやんけー！
勝美 兄ちゃん、意地悪やめたりいな。
英勲 意地悪ちゃうわ。
健司 何や。洋光はビール飲まれへんのか？
洋光 飲めるけど、そういう事ちゃうやんけー！

英勲、洋光の頭を叩く。

英勲 普段飲んどんのか！
洋光 いった…。
健司 まあ、まあ、もつと悪い子は居てますよ。
英勲 お前は誘導尋問に弱いな。
順貞 もうもうもう…。洋光は飲めへん。悪い友達が飲んでんのん見てるだけや。
康子 何にしても最後まで飲みほすのが礼儀やで。

全員、笑う。

芳博 一杯くらい大丈夫や。

洋光、しぶしぶ飲みほす。
全員、拍手。特に順貞が大きな拍手。
洋光、頭をグニグニと押さえる。

洋光 あ…最悪やあ…。
勝美 もう食へんのか？
洋光 あ…最悪やあ…。

洋光、立ち上がり靴を履く。

陽子 行くんか？
洋光 行くわ。
英勲 ノンアツ楽しみにしてるぞ。
洋光 出てくんやよー！！
英勲 お前はどこまで親を信用してないねん？
洋光 どこまでも信用してへんじゃー！！

洋光、去る。

英勲 ほんといても子供は離れていくんやなあ…。

康子 勝美ちゃん、キンチ（洋キムチのこと）美味しいな。

勝美 あ、ホンマに？

陽子 朝鮮市場？

勝美 うん。

康子 山田か？

勝美 アリラン。とりあえず何処でもええわ思っ買って買ってん。

芳博 そういうたら昔な、一回だけお母ちゃんが不味いキムチ出したんや。

「お母ちゃん、何か今日のキムチ不味いなあ」言うたら、お母ちゃん、照れくさそうに笑いながら

「うちが作ったんや」言うて。

尊子 ははは。それ知らんわ。

順貞 うるさい。

陽子 勝美ちゃん持ってきたコサリ、美味しいな。

勝美 美味しいか。

尊子 うん。美味しいわ。勝美ちゃんが作ったん？

勝美 そやで。

健司 一回失敗してカリカリしとったがな。

勝美 うるさいなあ！

陽子 うちは何か自分で作った味が気に入らんねなあ。

尊子 朝鮮市場で売ってる。パックのやつも美味しいもんなあ。

康子 以前に法事のお母ちゃんが熱出してたから、氣効かしたつもりでナムル買っていったら、

お母ちゃん「コサリは家のもんが作らなあかん」言うて、えらい怒って。

順貞 コサリは絶対自分らで作らなあかんねん。コサリの味はその家の特徴や。

英勲 死んだもんは法事の際にコサリの匂いで帰ってくるねん。

順貞 あ、そうなんですか。

英勲 そやから、どんなに一文無しの家でも、コサリとコップ一杯の水があたら法事できる言うくらいや。

陽子 コサリは家の味を覚えていかなあかん。

陽子 そやけど、うち作った不味いコサリやたら死んだ人が可愛そうやなあ。

グラウンド側。

洋光が担任の教師に殴られながら入ってくる。

康子 ちよっとちよっとちよと、ソンセンニン。どないしましたん？？せっかくの運動会やのに。

ソンセンニン いやあ、こいつ顔が赤いから熱でも出してるんか思ったら、酒飲んでるんですわ。

康子、洋光をどつきまわす。

康子 アンタ！酔っ払って運動会やってるんか！！

洋光 自分らが飲ましたんちゃうんか！！

康子 酒飲む時はしっかり飲む！シャン！とする時はシャン！とする！！

それがでけんねんやたら朝鮮人やめてまえー！！

どつきまわす康子を周りがなだめる。

ソンセンニン まあまあまあオモニ。せっかくの運動会ですから。ほら洋光。もう行け。

洋光、去る。

英勲　ま、ま、ソンセンニン。座って下さい。

康子　陽子、適当に盛ったって。

陽子　はいはい。

ソンセンニン　いやいや、オモニ。氣い使わんといて下さい。

康子　うちらが氣い使って食へささな、いつ食へますのん。給料安いのに。

ソンセンニン　いやあ…。ミアナンミダ…。

英勲　晴れて良かったですな。

ソンセンニン　ええ。見事な晴天で。

健司　ソンセンニン、最高級のビール飲んでください。

勝美　ソンセンニン、どうぞ。

勝美、ビールを渡す。

ソンセンニン　ほなら一杯…。

ソンセンニン、ビールを飲む。

芳博　あ。洋光、別の先生にどつかれてるわ。

尊子　反抗してる反抗してる。

英勲　言い訳しても、酔っ払ってるんは隠されへんわ。

健司　顔赤なったら物的証拠やわ。

順貞　ソンセンニン。

ソンセンニン　イエ？

順貞　朝鮮人は、いつ朝鮮人になるか知ってますか？

ソンセンニン　イエ？？

陽子　生まれた時ちやうの？

順貞　違う。

康子　生まれて区役所に届けた時か？

順貞　うるさい。氣持ちや。氣持ちの事や。

ソンセンニン。何をもって、朝鮮人として自覚するか解りますか？

間。

ソンセンニン、少し姿勢を正し。

ソンセンニン　この異国の地で、祖国の統一を願い…。

順貞、ソンセンニンの頭を思いつき叩く。

康子　ちよっとお母ちゃん！何するのん！？ソンセンニンやで！！

順貞　ソンセンニンである前に一丁目の金村の息子やないか！！

（ソンセンニンに）お前は子供の時にハナクソほじくりながら聞いてた授業のまんま喋ってるな？
考えんと喋るんやったらお前いらんやないか！お前はキョウォンかソンセンニンか、どっちや！

ソンセンニン

え???

順貞

キョウォンかソンセンニンか、どっちや!

ソンセンニン

ハルモニ、どっちも同じ意味でしょ?

順貞

キョウォンは「教員」。教える要員。ソンセンニンは「先生様」。

先に生まれて生き様見せる!お前はキョウォンかソンセンニンか、どっちや!

順貞、ソンセンニンの頭を叩く。

尊子

人の頭をボンボン叩きな。

順貞

人の頭やたらボンボン叩かんわい。金村の息子の頭やから叩いとるんや!

ええか、しっかり聞け。朝鮮人いっなのはな…。

ソンセンニン

イェ…。

順貞

年寄りからやいやい言われて。刃向かつて。

年寄りからやいやい言われて。刃向かつて。

年寄りからやいやい言われて。刃向かつて。

年寄りからやいやい言われて。諦めて、初めて朝鮮人になれるんや。

少しどんよりした間。

英勲

オモニ…。ちょっと…重い気持ちになりますわ…。

順貞

年寄りに刃向かっどるうちは何人(なにじん)もない。ただのガキや。

尊子

(ため息) それやったら、うちら筋金入りの朝鮮人やわ。

康子

諦めすぎて相手せえへんようになってるもんな。

順貞

若いうちに諦めて、自分も年とったら若いもんにやいやい言うために、長生きしようと思っんや。

尊子

…うわあ…。

ソンセンニン

あの…。僕これで…。

英勲

すんませんな、どんよりさせて…。

順貞

お前、逃げよう思っどるな!

ソンセンニン

いえ、そんな…!

ソンセンニン、逃げるように去る。

順貞

お前の家も知っどるからな!!お前のオシメも変えたっしたことあるんやぞ!!

陽子

お前のブッコチュもどんな形か知っどるぞ!!

尊子

もう…お母ちゃん、やめたりいや。

康子

可愛そうになあ…。あの人ら給料も安いんやろ?

順貞

手取り十万や。十万か?

勝美

十万。

英勲

他人の給料の話すな。

尊子

十万!?!どうやって御飯食へてるのん??

康子

家庭訪問の時に色んな生徒の家で一杯食へて、後は我慢するねんやんか。

英勲

バカタレが…。大袈裟や。

康子

大袈裟やあるかいな。どんだけうちらが張り切って作ったっどる思てるのんな。

陽子

朝鮮学校は先生も親も大変やなあ。

康子

通わすのが必死や。

健司

うちの親も頭悩ませてましたわ。

勝美

生徒もどんどん減ってるしな。潰れていく学校も多いで。

尊子

そんなんで続けていく意味あんの？

英勲

そういう事を言うな…。そんなんでも無かったらどうしないするねん。

尊子

日本の学校一杯あるやん？別に日本で生きて行くねんから、何かとそっちの方が便利ちゃう？

健司

うちらかて日本の学校通うてきたし。

英勲

まあ、まあ、尊子ちゃん。

尊子

そら通わん人間の方が多いやろう。そやけど、学校があるだけでも全然意味はちゃうんや。

英勲

自分が何人(なにじん)なんかを考える出発点やないか。

尊子

君らみたいに遠くから見ると立場の人間にでもそれは同じや。出発点からどこに行くかは本人次第や。

英勲

そやけど総連の道行くように教育してるんやろ？

尊子

それでも毎年ものすごい数で減っていつてるがな。朝鮮学校も必死なんや。

英勲

そんなもん、たかだか一日のうちの何時間、何を教えたところでやな、人間は単純やないねん。

尊子

子供なんか特に単純やないねん。自分で勝手に自分の方向に歩くねん。

尊子

そやけど出発点なかったら、人間何処にも行かれへんし、死ぬ時に何処に帰るねん。

尊子

出発点で息切れしとったら何処にも行かれへんと思うけどなあ。

尊子

何事もない間。

尊子

しばらくして。農楽の音が聞こえてくる。

康子

ノンアッ、始まったな。

康子

全員、ハマニを見る。

康子

ハマニ、ゆっくりと晴天を見上げ、長短(チャンダン)を認識していく。

康子

全員、ハマニを見る。

康子

ハマニ、ゆっくりと晴天を見上げ、長短(チャンダン)を認識していく。

康子

ハマニ、ゆっくりと、そして重厚に立ち上がり、ゆったりと流れるように舞いだす。

康子

来た来た！

芳博

来た来た！

芳博

全員、楽しそうに立ち上がり出鱈目に踊り出す。

芳博

うわあ！色んなところでお婆さんらが踊り出したわ。

勝美

朝鮮のおばちゃんはこういう時、踊らな気い済めへんのやから。

勝美

全員、ビールや空いた容器を楽器代わりにガチャガチャ叩き出す。

勝美

ハルモニ！まだまだチャンダン聞こえるくらい元気ですな！

順貞

ちやう！チャンダン聞こえるうちは死んでられへんのやあ！

順貞

ハマニ、音が聞こえる方へ進んで行く。

尊子
ハミン、前に行きたいんか？
康子
ロープ越えてまい越えてまい。
英勲
よっしゃ、任せとけ！

英勲、去る。
そして仕切りロープをほどいて戻ってくる。
全員、踊りながら、音を奏でながらグラウンド内へと去っていく。
舞台、もぬけの殻。
音だけが響いている。
しばしして。

洋光が英勲を引張って出て来る。
それに続いて全員戻ってくる。

洋光
何で出てくるねん…！あ？何で出てくるねん…！

健司
洋光、アボジの話も聞いたりや？

洋光
俺の話から聞いてくれ…！

英勲
落ち着け。

洋光
落ち着かせてくれ！

英勲
逆にお前に聞いわ。何で出できたらあかんのや？

洋光
見る側と見られる側が正しく存在するから今日が成立するんとちゃうんか！？

世の中、与える側と与えられる側に分かれてるんとちゃうんか！

間

英勲
お前、友達どうまい事いつてへんのか？

洋光
いつとるわ！何やったら後四、五年は卒業したくないくらい、うまい事いつとるわ！

康子
隠さんと正直に言うてみ？

洋光
一切隠さず、何の曇りもない正直な気持ちじゃ！出てくんない！

康子
朝鮮のおばちゃんに踊るな言う方がどないかしてるわ。

洋光
何で朝鮮のおばはんは踊り出すねん！？たまには踊れへん日があつてもええんちゃうんか！？

康子
ほなアンタ、明日からおしこしたなつても絶対便所行くな！

洋光
何の話やねん！？

康子
そういう事やないか！

洋光
自分の納得で喋んな！

康子、洋光の襟元を正す。

康子
ちよつと服ちゃんと着いな。

洋光
触んなや！（グラウンド側を見て）二年、何笑うとんねん！シバくぞ！

英勲、洋光の頭を叩く。

英勲

木村さんこの子に何を偉そうにしとんねん。

洋光

(木村さんの子らしき方向に) 勘忍したってな。洋光のアボジです。隣がオモエです。親戚一同です。やめろやあ！俺、今まで贅沢言うてきた事ないやろ？気持ちだけでもスクスク成長させてくれや！！

洋光、去る。

全員、しばし見送っている。

康子

ファミコン買ったんが良うなかったんかなあ…。

全員、自分の場所に戻っていく。

順貞、おもむろに身の回りのものを退けて、身体を横にする。

陽子

お母ちゃん、どないしたん？

健司

あれ？おばさん、大丈夫ですか？

順貞、無言。

尊子

お母ちゃん、しんどいんか？

順貞

大丈夫や。

康子

どないしたん？

順貞

何でもない。暑いだけや。

勝美

お茶入れましょか？

健司

コップ…。

順貞

ええ。

陽子

お母ちゃん、薬飲んだんか？

順貞

飲んだ。

尊子

それ、飲んでへん時の「飲んだ」やんか。飲んでへんねんやろ？

順貞

うるさい。飲んだ。

陽子

いつ飲んだんか？

順貞

昨日の昼飲んだ。

康子

お母ちゃんな、血圧下げる薬なんやから、毎日三回きっちり飲まんとかかんねんで？

順貞

わかったわかった。うち、ちよと寝る。

康子

しんどいんか？

順貞

しんどくない。横なるだけや。

陽子

寝る前に薬飲みいな。

尊子

勝美ちゃん、悪いけど水くれる？

勝美

どれやろ？

康子

魔法瓶にお湯入ってるわ。

尊子

昔の人は、ホンマになかなか病院も行けへんし、大丈夫大丈夫ばかり言うんやから…。

順貞

昔は朝鮮人は保険入れられへんかったから、皆我慢したんや。

陽子

今は昔とちやうやろ？

英勲

芳博が嫁さんでももたらってくれたらオモエも楽できるのにな。

健司

芳博くん、何歳なったん？

康子

彼女おれへんのんか？

芳博 うるさいな。

康子 何をカリカリしてるんな？

芳博 会うたらそーういう話ばかりすんのんやめてくれや。

康子 ええ年やのに。

健司 まあ、まあ、まあ。

芳博 ええ年なんやからほっといてくれ。

英勲 芳博、イライラせんと真面目に考えてな、君らがボチボチ法事も覚えていかな、オモエがいつまでも一人で法事の用意もできはるわけないやろ？

康子 陽子も尊子も法事の日くらい仕事休まれへんのか？

陽子 今年休んだやんか。

康子 今年出たから来年出んでええとかちやうやろ？

陽子 毎年毎年何回も休まれへんわ。

会話中、繰り返される銃声と走り過ぎる音。

尊子 日本の法事みたいに何年かおきにやったら楽やねんけど…。

勝美 うちのお母ちゃんもお父ちゃん死んだ時、テサン終わるまで毎日毎日、サンに御飯置いてたけど、もう日本人みたいに四十九日で終わらせた方がええわなあ。

尊子 生きてるもんが大変や。

健司 大変やけどな。

英勲 そーうい問題とちやうやろ。

健司 そーうい問題でもありませんわな。

勝美 兄ちゃんはよくても姉さんの事も考えたりいな。日本で生きていくねんから、

英勲 うちらかて事情がある程度合わせなあかんわ。

英勲 逆やろ？お前は自分が日本人になりたいから風習を日本に合わせたいんやろ？

勝美 うちが帰化の話したんも、子供の事も考えて真剣な気持ちやったんや。

英勲 ははは。カッコつけたくて言うてんのや思っどったわ。

勝美 ホンマに、堪にさわる言い方ばかりするな。

英勲 もう黙っとけ。

健司 兄さんにカリカリするな。

しばしの間。

スタートの銃声。

康子 これ何の競技や？

尊子 えらい老けた子らばかりやなあ。

康子 ははは！見てみ、あの子。若いのにあんなにハゲて！可哀相やなあ。

陽子 …あ、ソンセンニらのリレーやわ、これ。

康子 ああ、先生らの対抗リレーか。

尊子 なんや、洋光の学年のソンセンニらへへやんか。

陽子 あ。アンカー、さっきの洋光の担任の先生やん。

英勲 うわうわ。また一段と遅いなあ…。

英勲 ああーソンセンニン、ワシより若いのにボテボテと…！

英勲、ロープを越えてグラウンドに出る。

英勲
ソンセンニン！こちこち！

ボテボテと走ってくるソンセンニン、英勲にバトンを渡す。

英勲、走り去る。

ソンセンニン、地面に手をつけて息切れ。

歓声が響く。

康子
あゝあゝアボジが優勝してもうた。

ソンセンニン
アボジ！素晴らしいです！

ソンセンニン、走り去る。

しばらくして。

サッカーのエニフォームを着た洋光が英勲を引っ張って出てくる。

そして無言で睨みつけている。

英勲
まあ、待て。お前の言いたい事は聞き飽きた：：違う：：よう解る。

そやけどやな。七十万とも言われとった同胞が毎年何万人も減っていつてるこの日本でな、

同じ朝鮮人が苦しんどたら、それを助けるのも同じ朝鮮人として当然やろ。

朝鮮人だけが集まる学校で朝鮮人だけの運動会やとるねん！！同じ朝鮮人として俺の事も助けるや！！

英勲
よっしゃ、どの種目を…。

出てくるな！！勝つかどうかでドキドキする運動会さしてくれや。

身内が出てくるかどうかでドキドキする運動会さすなや！高校最後の運動会やねんぞ！

(グラウンド側を見て) 一年！何笑ろとんねん！殺すぞ！！

英勲、洋光の頭を叩く。

英勲
張本さんとこの子に恐ろしい事言うな！

親の仇みたいに出てくんや！！

ワシの親は運動会で死んでないで？ワシのアボジは肝硬変で…。

うるさいわ！！

何をカリカリしとんねん？今日帰ってきたらゆっくり話そや。

帰りたいわ！！今日は特に帰りたいわ！！誰もおらんとこで泣きたいんじゃ！！

洋光、走り去る。

尊子
あの子、出てくるたびに着てる服ちゃうな。ファッションショーやな。

康子
ファッションショーが可哀相や。

英勲
最後にクラブ対抗のリレーがあるんや。

陽子
洋光が選ばれたんか？

康子
そや。芳博、しっかり撮ったってや。

英勲 勝美、ビール取ってくれ。
健司 勝美。

勝美、英勲の前に不機嫌にビールを置く。

健司 お前、兄さんにそんな…。

英勲 お前も何をブスウっとしとんねん？

勝美 誰のせいや。

英勲 お前もしつこい性格やなあ。

勝美 うちが兄ちゃんのしつこい性格にウンザリしてるねん！

健司 もうええ！場所を考え。

陽子 勝美ちゃん、こっち座り。

勝美 皆集まってる場所で、兄ちゃんはいつもうちに皮肉ばかり言うやんか！

英勲 もうええ言うてるのや！！

勝美 うちかて言いたい事一杯あるんやで！

英勲 お前が今日でもやなあ、朝から来るなり「朝鮮人ばかり集まるとこはしんどい」とか言うからやないか。

健司 まあ、兄さんも落ち着いて。

陽子 お母ちゃん、日傘でもさしとくか？

順貞 大丈夫や。

康子 お母ちゃん、強情はらんと葉毎日飲んで、身体大事にしてくれなあかんで？

陽子 たまにお母ちゃんの方がハマソより先に倒れるんちゃうか、て心配なるわ。

順貞 うちは倒れへん。

尊子 うち、前から言うてるけど…ハマソを老人ホームみたいなどに任せるのも考えなあかんで…。

康子 そんな話は今せんとき。

順貞 オモニはうちが見る。うちはまだまだ元気や。

陽子 それやたら葉もちゃんと飲んで安心させてえな。お母ちゃんの頑固さにはヒヤヒヤするねん。

英勲 老人ホームで、殺生な…皆でハルモニの面倒見ようとか思わんのかいな？

勝美 人の家に口出さんときいな。

尊子 兄弟で何回も話合ってたよ。老人ホームは何も悪いとこちゃうで？

健司 朝鮮人はっかり集まってる老人ホームもあるで？

英勲 そういうとこあるみたいやな。

健司 老人ホームがどうこう言うてるんちゃうねん。ワシは君らの近所に住んでたから、

英勲 ハルモニが元気にしてはった頃も毎日のように見とるねん！

健司 君らのオモニは毎日休まんと働いてはったから、ハルモニが芳博おんぶして、

陽子 陽子ちゃんと尊ちゃん抱っこして面倒見ではったんや。

勝美 ハルモニがどんだけ君ら孫を可愛がってた思ってるのや！

陽子 うちらがハマソ厄介者にしてるみたいやない方やめてえや！

尊子 英勲兄ちゃんが面倒見れるんか？

陽子 兄ちゃんも何にでも口出さんときいな。

勝美 アンタ(芳博)が早よ嫁さんでももらってくれたらお母ちゃんも楽になれるんやで？

陽子 アンタと嫁さんが法事覚えたら助かるんや。

康子 関係ないやないか！

英勲 関係ない事あれへんぞ。法事は長男が継ぐもんや。

芳博 俺の判断なしで決めんといってくれ。嫁さんもらうんやったら日本人の嫁さんもらうわ！

健司

芳博くんもそんな言い方…。

英勲

そういう事を何で言うんや！

順貞

もうもうもう…：うちがまだまだ元気やから。法事の準備もオモニの世話も、うち一人で充分やから。

康子

そやけどお母ちゃんもこの子らに、あれせまこれせまて言わなあかんやんか。

英勲

ホンマですよ、親なんやから。

順貞

うちは一人が気が楽やから一人で準備もしてるねん。

康子

楽なわけないやろ？陽子らにも仕事休ませえな。

陽子

勝手な事言わんといてえな。

尊子

うちら働いてお母ちゃんにお金渡してるねん！仕事休んでどないすんのん！？

順貞

うちはケンカしてほしくないだけやねん！

順貞、泣き出す。

英勲

ほな法事やめるんか！生きてく上での礼儀っちゅうもんがあるんやぞ！

尊子

生きてるもんが自分の体しんどい思いしてまでやる事か？

勝美

兄ちゃんが躍起になるほど他の人はこたわってへんねん！

健司

こら！

勝美

うちの結婚式の時から、うちが着物着たい言うたんオモニは何にも言うてなかったわ。

英勲

あれはお前がオモニに、ワシを宥めてくれ言うたんやろ！オモニは悲しんどったんや！

尊子

うちも自分の結婚式は着物着たいわ。

康子

うるさい。口挟みな！

英勲

大体、昔の事を蒸し返すな！

勝美

蒸し返してるんとちゃうねん！兄ちゃんの頑固さと独りよがりのお節介に腹立ててるねん！

英勲

お前らのあまりの冷たさに腹立つんや！

尊子

生きてるもんが生きていく事に必死になるのは冷たい事か？

英勲

今生きてるもんは誰が育ててくれたんや！

勝美

もつと目の前も見いや。働いたら働いた分だけ国に物送るし、オモニもそうやったんやんか。

健司

自分着る服は何年も汚い同じもん着て、とにかく国に送って…。

勝美！

英勲

お前は、皆がどういう想いで送ってるか解らんのか！？

勝美

会うたこともない親戚のために生活削られへんわ！

英勲

兄弟の子供らやないか！

健司

兄さん、ビールでも飲みましょ。

康子

アボジは気持ちだけ猪で、周りとかお金の事とかは無頓着やねん。

英勲

お前は誰の味方やねん！？

康子

はあ！？結婚して何年もなるのにまだ解らんのか！？？うちはいつでもうちだけの味方やないの！！

スタートの銃声。

全員

パンパンパンパンうるさいなあ！

康子

運動会、他所でやりいな！！

尊子

ホンマ、朝鮮人は生きてるもんを大事にせえへんねん！

陽子

安田のおっちゃんが言うとなつたわ。済州島では法事やりすぎて餓死した一家がおるって。尊子、もう黙るとき。

英勲

ほな君は今、自分のオモシの法事も邪魔くさいて、生きてるオモシに言うてるのか？

君こそ生きてるもんを大事にしてへんやないか！

そーいう意味ちゃうやろ！？

うちが死んだら法事もしてくれんでええから。

そんな事言うてへんやんか。

もう喧嘩せんとさいな。

まあ、まあ、皆…。

もう解ったから、お母ちゃんも泣かんときいな。尊子、アンタもいちいち言い返さんでええ！

君らみたいな考え方では上の世代は目えつむつて死なれへんわ。

他人の生き方くらいほっといて。うち、他人に土足で口出してくる朝鮮人の性格、大嫌いやねん！

尊子！

陽子

激化する喧嘩は無音となり、

芳博が一人、喧嘩から抜けてグラウンドを眺める。

芳博

お…これは…。クラブ対抗のリレーか…。

サッカー部のユニフォーム。洋光…おるな。

……。

いつかお前が…今、お前が思ってるよりも大人になって…大人やと思ひ込んでた今の自分を、

その青さを懐かしんで、照れ笑いでできるほどに大人になって…

自分の血の現実ばかりが見えて…自分の血がガチャガチャと騒がしくて、

鬱陶しく纏わり付く毎日を過こすようになつた時…

お前は、どんな背負い方をして、どんな走り方をするんやろうな…？

スタートの銃声。

芳博

俺とは全然違う走り方をするんやろうな…。

お前の前を走った俺らを…どんな追いかけ方をしてくるんやろうな？

……。

ああ…。二区の子がこけた…。

……。

サッカー部…一気に最下位か…。

……。

三区…追い付かれへんなあ…。洋光…窮地に立たされたなあ。

お前の前に、お前の意思ではどうにもならん、お前の小さい力ではどうにもならん事実があつても、

最期に負けたらお前の責任や…。

……。

バトンが渡つた…！

グラウンドを見据える芳博。

芳博

…抜いていく…！一位の奴を捕らえた…！

舞台はもう一度、全体に戻る。
喧騒が激化している。

勝美　うちかて好き好んで朝鮮人に生まれたわけやないわ！！

英勲　お前なあっ……！！

芳博　洋光が一位に立つぞ！！

全員、一気に洋光に集中する。

スローモーション。

全員のその目の前を、デッドヒートの洋光が駆け抜ける。

英勲　洋光、行け！！

全員見守る中、ゴールインを表す銃声。

全員、歓声を上げる。

康子　芳博！今のん撮ってなかったんかいな！

芳博、ニッコリ笑う。

芳博　大丈夫や。この目で見た。

しばしの盛り上がりが落ち着く。

運動会の終了を告げる花火の連打。

ハマニ、ゆっくりと立ち上がり踊り出す。

陽子　ハマニ。太鼓の音とちゃうで。

康子　踊り足らんねやろ。

英勲と康子、グラウンドを見ている。

康子　いや、アボジ！あの子、笑いながらこっちに手を振ってるやんか！

英勲と康子、手を振り返す。

英勲　やっぱりワシの子やで。

康子　うちに似たんや。うちの子や。

順貞　うちの孫や。

ハマニが流れるように踊り続ける。